



# まちの

## 盆踊り



豊年盆踊り

### 仮装などで 行く夏惜しむ



日出地域盆踊り

日出地域盆踊りが8月14日に日ノ出地区ふれあいセンター駐車場で、豊年盆踊りが15日に仲町公共駐車場、それぞれ行われました。

会場では、大きな太鼓の音が響き渡る中、子どもたちは浴衣やアニメの仮装で一生懸命に踊り、大人の仮装盆踊りでは、町内外から参加された方による手作りの衣装などで華やかな踊りが披露されました。

地元や帰省している見物客は、訓子府の短い夏を満喫していました。

## 今年も観光大使がんばりました



### 訓中3年修学旅行 札幌で訓子府をPR

町は、今年も訓子府中学校の3年生49人を「訓子府町ふるさと特別大使」「訓子府町ふるさとPR委員」として8月18日に任命しました。

訓中が毎年修学旅行で実施している地域学習「訓子府町PR体験」を後押しするものです。

今年も、大使に山本斐琉さんが、PR委員に渡邊来智さんが就き、全員で8月24日11時から約1時間、札幌駅で、手作りのパンフレットや特産物を配布し、訓子府町を大いにPRしました。

## くんねっぴアート・タウン・プロジェクト

### 黒板ジャック



### 彫刻作品公開制作

武蔵野美術大学彫刻研究室のスタッフである山本麻璃絵さんが8月8日から24日までの16日間で彫刻作品「くわ・くわ・くわ」を制作しました。使用された材料は、昨年の台風7号で倒木した訓小の推定樹齢300年のハルニレの木です。

緻の頂には訓子府の特産品「メロン・タマネギ・トウモロコシ」の装飾を施し、訓子府らしさを表現した作品となりました。

また、21日には武蔵野美術大学の学生が黒板ジャックとして、各小中学校の黒板にキッネや鮭などの北海道らしい絵を描き、児童・生徒たちに感動を与えました。

# わだいの



## 姉妹町・津野町へ交換留学



訓子府町の姉妹町・高知県津野町を訓子府町の児童4人が、交換留学として、7月25日から30日まで訪問しました。

訪問したのは、訓小6年の清信、宏斗くん、小野泰雅くん、居小6年の辻祥花さん、渡辺実結さん。

津野町では、ホームステイしながら精華小学校と中央小学校に通いました。

4人は、出発前は緊張していたものの、受け入れ家庭や通学する小学校の児童とすぐに仲良くなり、交流を深めて帰りました。

## わくわく園・ゆめゆめ館

### 七夕まつり



ゆめゆめ館



わくわく園

わくわく園とゆめゆめ館の七夕まつりが、8月7日にそれぞれ行われました。わくわく園では、七夕の歌を歌ったり、スイカ割りなどをし、また、ゆめゆめ館ではクイズラリーや駄菓子屋さん、ビンゴゲームなどを行い、夏のひとときを楽しみました。

## 高知県の農業高校生来町

高知県の農業高校生が8月18日に農業体験学習を目的に来町しました。

北見地方1市3町で毎年受け入れていますが、今年訓子府町には高知農業高校生の長野悠人さんが訪れ「たくさんのことを学び、将来に役立てたい」と抱負を話し、19日から24日まで町内の酪農家で実際に農業を体験しました。



## 野生大麻撲滅 約1万2,000本を除去



町内に自生する大麻の集団抜き取り作業が7月24日に行われました。

ライオンズクラブをはじめ、防犯協会、訓子府高校、訓子府消防団、北見保健所などから合わせて約40人が参加しました。

6月から9月までの期間、野生大麻・不正けし撲滅強化運動の一環として、北見保健所管内で毎年抜き取り作業が行われています。

参加者は人の背丈よりも伸びている野生大麻を1本1本抜き取り、撲滅に向けて汗を流していました。

